



「東アジア・サマースクール2018」講義聴講のご案内

奈良県・奈良県立大学では共催で、東アジア諸国間の交流を一層活発化し、将来を担う若い世代の人材育成を目的とした短期集中型セミナー「東アジア・サマースクール2018」を開催します。

そのカリキュラムは多岐にわたり、歴史・文化・環境や医療など各分野の著名な講師陣による講義を展開します。講義については、その全てを公開講座といたしますので、聴講を希望される方は下記によりお申し込みいただきますようお願いいたします。

- 1 講義日時 平成30年8月21日(火)～8月27日(月)の間の5日間(裏面参照)
- 2 会場 奈良県立大学(奈良市船橋町10) 地域交流棟 中研修室
※駐車場はありません。公共交通機関でお越し下さい。
- 3 講師及び
講義タイトル 裏面参照 (聴講料:無料)
- 4 定員 各講座30名程度(※応募者多数の場合は、抽選等により決定)
- 5 申込〆切 平成30年7月25日(水) ※必着

<聴講申し込み方法>

下記ホームページの応募フォームに必要事項を入力し、送信して下さい。

聴講申込ホームページURL : <https://tbwv.heteml.jp/eass2018/>

<受講決定者について>

聴講決定者についてのみ、東アジア・サマースクール事務局より聴講決定通知書を送付いたします。

※8月上旬発送予定

●聴講決定通知書のない方は、聴講(入場)できません。

【問い合わせ先】

〒630-8258 奈良市船橋町10番地
奈良県立大学事務局総務課企画調整係

TEL : 0742-22-4978

FAX : 0742-22-4991

東アジア・サマースクール2018 講義スケジュール

日程／時間		講義タイトル・講師
8/21 (火)	9:00 - 10:30	奈良と大陸 岡本 彰夫 前春日大社権宮司、奈良県立大学客員教授
	11:00 - 12:30	東アジアをどう構築するか・・・朝鮮半島情勢をめぐって 小倉 紀蔵 京都大学大学院教授
	13:30- 15:00	外交官が見た日本の戦後平和外交史:道義的国家としての道 竹内 行夫 元外務事務次官、奈良県立大学客員教授
8/23 (木)	9:00 - 10:30	観光と異文化理解 ラナシンハ ニルマラ 奈良県立大学講師
	11:00 - 12:30	古代の奈良 ～日本の形が整った時代～ 田辺 征夫 (公財)大阪府文化財センター理事長、(一財)仏教美術協会理事長
	13:30- 15:00	海魚も川魚も魚である 王 敏 法政大学教授
8/24 (金)	9:00 - 10:30	地域活性化の鍵 ～観光振興～ 岩村 敬 元国土交通事務次官、奈良県立大学客員教授
	11:00 - 12:30	地球環境問題の森里海連環論 田中 克 京都大学名誉教授、舞根森里海研究所長
	13:30- 15:00	世界遺産のしくみ 佐藤 禎一 元文部事務次官、奈良県立大学客員教授
8/26 (日)	9:00 - 10:30	人と科学と未科学 松本 紘 理化学研究所理事長、前京都大学総長
	11:00 - 12:30	観光による地域経済活性化で重要なこと 山田 桂一郎 JTIC. SWISS代表、奈良県立大学客員教授
	13:30- 15:00	東アジアにおける分断と統合 李 鍾元 早稲田大学大学院教授
8/27 (月)	9:00 - 10:30	現代医療に生かす伝統医療 渡辺 賢治 慶應義塾大学教授
	11:00 - 12:30	古墳時代の東アジア交流 上垣外 憲一 大妻女子大学教授
	13:30- 15:00	日本の社会保障政策 ～少子高齢化に着目して～ 辻 哲夫 東京大学特任教授